



行方市  
NAMEGATA

に こと  
式湖と大地のなめがた

# 議会だより No.45

平成28年11月1日発行

発行：行方市議会 〒311-3512 行方市玉造甲404 TEL0299 (55) 0111 発行者：行方市議会議長 鈴木義浩 編集：行方市議会広報委員会



行方市中学生模擬議会  
届け 私たちのメッセージ

## 主な内容

- 第3回（9月）定例会  
（あらかし、議案の説明、議決結果など）…………… 2～8P
- 一般質問（9名の議員が登壇）…………… 9～14P
- 委員会レポート（行政視察の報告）…………… 14～15P
- 中学生模擬議会…………… 16～17P
- 議会トピックス（議会日誌、傍聴案内等）… 18～19P
- 市民の声…………… 20P

平成28年  
9月  
定例会

## 第3回定例会のあらまし

9月定例会は、9月6日から26日までの21日間の会期で開かれました。

今定例会では、人事案件、補正予算、条例の一部改正に関する議案が11件、報告4件、平成27年度決算認定9件が市長から、また、意見書案2件が議員から提出されました。決算認定は引き続き継続審査となりました。そのほかの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

一般質問には9名の議員が登壇し、市の方針等を質しました。

# 徹底審査！市のお金の使いみち

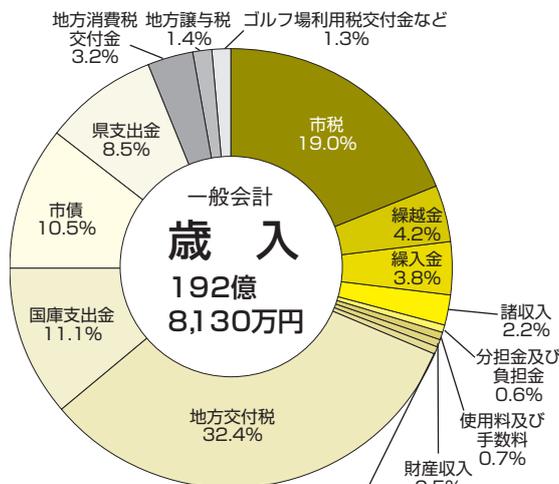
## 一般会計歳出

185億9,336万円

前年度比4.9%増

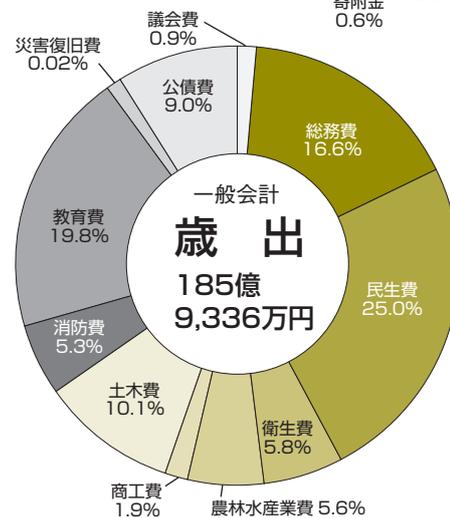
【歳入】		前年度比%
市税	36億6,437万円	△0.9
地方譲与税	2億6,955万円	4.7
地方消費税交付金	6億1,940万円	60.1
地方交付税	62億5,632万円	△1.0
分担金及び負担金	1億716万円	△29.1
使用料及び手数料	1億4,138万円	△1.2
国庫支出金	21億4,230万円	0.2
県支出金	16億3,453万円	35.7
財産収入	9,218万円	65.4
寄附金	1億1,322万円	334.5
繰入金	7億3,686万円	△9.1
繰越金	8億609万円	△3.2
諸収入	4億2,755万円	1.4
市債	20億1,770万円	8.9
ゴルフ場利用税交付金など	2億5,269万円	7.0

一般会計の決算状況



各事業の効果はどうだったのか  
適正・効率的に使われたか

【歳出】		前年度比%
議会費	1億6,439万円	4.7
総務費	30億7,404万円	28.7
民生費	46億5,140万円	2.1
衛生費	10億7,932万円	△3.7
農林水産業費	10億3,835万円	18.5
商工費	3億5,459万円	△2.4
土木費	18億7,819万円	△24.0
消防費	9億9,157万円	18.8
教育費	36億8,298万円	21.5
災害復旧費	334万円	△96.9
公債費	16億7,519万円	△8.2



※金額は、1万円未満を四捨五入しているため、円グラフ中央の合計額とは一致しません。

# 9会計は継続審査

平成27年度一般会計・特別会計など9会計の決算を審査するために、決算特別委員会が設置、付託されました。委員会は、3つの分科会（総務・教育厚生・経済建設）に分け、審査を行いました。審査は継続となりました。審査結果については、次回開催の第4回定例会（12月）で報告される予定です。次号「議会だより」で、採決の結果や委員会での審査内容をお伝えいたします。

●監査委員の意見（一部抜粋）  
本市にとって、少子高齢化、人口減少化社会は将来的に大きな影響を及ぼすところであり、さらに地方分権の推進に伴う、自主性・自立性を高めた市政運営が従来以上に求められていることから、行財政運営を押し進める上でさらに厳しい状況が想定される。これらの状況に対し、常に先駆的に取り組みがなされ、安定的な市政運営がなされるよう希望するものである。  
行方市監査委員 鈴木 宏  
平野晋一

## 27年度決算注目事業



プレミアム付商品券発行事業 7,613万円



北浦地区統合小学校施設整備事業 17億1,799万円



防災対応型エリア放送整備事業 1億777万円



市民まつり事業 1,658万円

決算額は、27年度のみのものであり全体事業費ではありません。複数年事業のものがあります。

## 一般・特別・企業会計別決算

	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	192億8,129万5,979円	185億9,336万1,243円	6億8,793万4,736円	
国民健康保険特別会計	60億8,491万4,717円	60億5,671万6,364円	2,819万8,353円	
介護保険	保険事業勘定	35億1,163万1,893円	33億2,162万4,267円	1億9,000万7,626円
	介護サービス事業勘定	1,113万1,577円	871万552円	242万1,025円
後期高齢者医療特別会計	3億275万1,297円	3億111万4,197円	163万7,100円	
農業集落排水事業特別会計	1億3,521万203円	1億2,728万4,794円	792万5,409円	
特定環境保全公共下水道事業特別会計	4億7,962万9,643円	4億5,895万1,743円	2,067万7,900円	
流域関連公共下水道事業特別会計	3億3,384万5,136円	3億2,470万4,885円	914万251円	
戸別浄化槽整備事業特別会計	1億180万1,186円	9,627万494円	553万692円	
水道事業合計	収益的	9億2,660万2,007円	8億5,177万2,294円	7,482万9,713円
	資本的	1億9,417万5,680円	5億2,945万5,440円	△3億3,527万9,760円

# 主要指標から見た 行方市の財政状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、平成27年度の行方市健全化判断比率の報告がありました

• **実質赤字比率**      **--%**      **(赤字はありません)**  
標準財政規模における一般会計等の赤字の割合を指標化したもの

• **連結実質赤字比率**      **--%**      **(赤字はありません)**  
行方市のすべての会計を合算して赤字の割合を指標化したもの

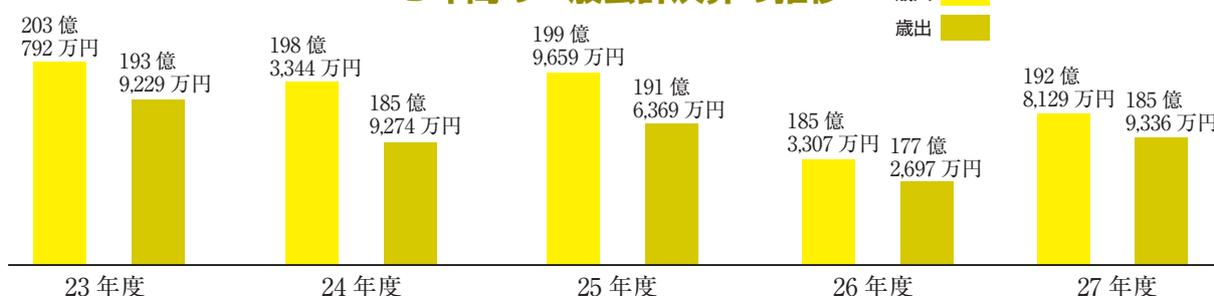
• **実質公債費比率**      **7.7%**  
市の実質的な借金が財政規模に占める割合のこと。数値が高いほど返済の負担が重いことを示し、通常3年間の平均値を使用します。

年度 / 項目	比率	県内平均	早期健全化基準
H27	7.7	7.3	25.0
H26	8.9	8.0	
H25	9.9	9.0	

• **将来負担比率**      **75.5%**  
地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

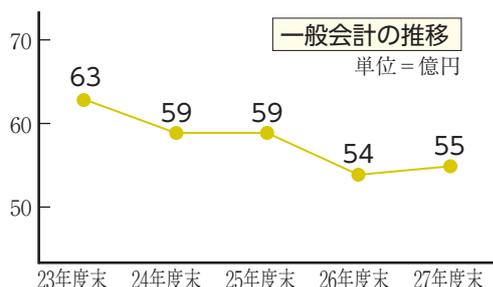
年度 / 項目	比率	県内平均	早期健全化基準
H27	75.5	36.6	350.0
H26	80.0	37.5	
H25	80.8	42.9	

## 5年間の一般会計決算の推移



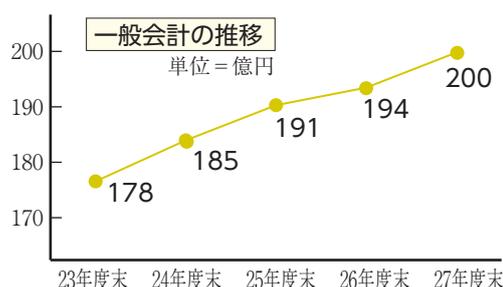
## 基金の状況

**一般会計**      **55億2,807万円**  
**特別会計**      **4億5,066万円**



## 地方債の状況

**一般会計**      **200億1,675万円**  
**特別会計**      **55億6,036万円**  
**水道事業**      **32億3,673万円**



市長が提出した議案等

### 諮問人事

### 教育委員会委員の任命

滝 恵美子

(玉造甲19215番地5)

任期：平成28年12月1日から

平成32年11月30日

平成28年11月30日で、鬼澤光一氏が任期満了となることから、新たに任命することに同意しました。

### 条例

■行方市立学校設置条例の一部を改正する条例

北浦幼稚園移転により所在地の変更を行うもの。

・行方市山田1281番地

・行方市繁昌212番地

8月から改修工事を実施し11月末に、最終的な引越し作業が完了する見込み。

### 議案

■工事請負契約の変更契約の締結(仮称) 島並地区屋外スポーツ施設整備工事(建築工事)

【変更後】 契約金額

1億6,369万5,600円

(14万4000円の減)

株式会社ミノワ

(代表取締役 箕輪伊勢男)

【変更の理由】

四阿(あずまや)の仕様の変更をするもの。当初の計画より利用者の利便性向上のため、スペースを広くしたため等。

■行方市土地開発公社の解散  
北浦複合団地を整備するため、平成6年(当時の北浦村)に設立し、土地の先行取得等を行ってきたが、造成工事が終了したこと、及び現段階での大規模な土地の先行取得が、市計画にないことから解散をするもの。

■財産の取得

小型消防ポンプ積載車 4台

・北浦支団212(小幡)

・北浦支団213(高岡)

・北浦支団312(次木)

・北浦支団411(三和)

契約金額

3,261万6,000円

### 報告

### 健全化判断比率、資金不足比率の報告

■平成27年度行方市一般会計継続費精算報告書ほか2件の報告がありました。

※4ページに、行方市の財政指標の数値を掲載しました。

### 専決処分

行方市役所北浦庁舎において草刈り作業中の石跳ねにより、駐車中の車両への損害賠償の額を10万2,762円と定め和解したとの報告がありました。

## 第3回定例会の経過

9月6日(火)

【本会議】開会、会期の決定、諸般の報告、請願の上程、委員会付託、議案の上程、説明、質疑、採決

7日(水)

【本会議】議案の説明、質疑、採決

8日(木)

【本会議】一般質問(3議員)

9日(金)

【本会議】一般質問(3議員)

12日(月)

【本会議】一般質問(3議員)

【委員会】総務委員会

13日(火)

【委員会】教育厚生委員会

14日(水)

【委員会】行方市議会活性化特別委員会  
百里基地対策特別委員会

16日(金)

【本会議】議案の説明、監査報告、統括質疑

【委員会】決算特別委員会

20日(火)

【委員会】決算特別委員会  
(第1分科会、第3分科会)

21日(水)

【委員会】決算特別委員会  
(第2分科会、第3分科会)

26日(月)

【本会議】委員長報告、動議の提出、説明、質疑、採決、議員の派遣、閉会

# 平成28年第3回行方市議会定例会 議決結果一覧

## 《市長提出議案》

議案番号	件名	結果
報告第10号	平成27年度行方市一般会計継続費精算報告書について	-
報告第11号	平成27年度行方市健全化判断比率の報告について	-
報告第12号	平成27年度行方市資金不足比率の報告について	-
報告第13号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定め、和解することについて)	-
議案第54号	教育委員会委員の任命について	原案同意(全会一致)
議案第55号	行方市立学校設置条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第56号	工事請負契約の変更契約の締結について (仮称)島並地区屋外スポーツ施設整備工事(建築工事)	原案可決(全会一致)
議案第57号	財産の取得について	原案可決(全会一致)
議案第58号	行方市土地開発公社の解散について	原案可決(全会一致)
議案第59号	平成27年度行方市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決(全会一致)
議案第60号	平成28年度行方市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決(全会一致)
議案第61号	平成28年度行方市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第62号	平成28年度行方市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第63号	平成28年度行方市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第64号	平成28年度行方市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)

## 《議員提出議案》

発議第3号	教育予算の拡充を求める意見書	原案可決(全会一致)
発議第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決(全会一致)

## 今定例会で補正された予算(平成28年度)

会計別	補正額	主な内容	総額
一般会計 (第4号)	2億 5,599万円 増額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政調整基金積立金 / 1億6,295万3,000円</li> <li>・ 光ファイバ網敷設工事 / 7,428万3,000円</li> <li>・ 未熟児養育医療対策給付費 / 161万6,000円</li> <li>・ 保育対策総合支援事業費補助金 / 410万円</li> <li>・ 監視カメラ購入 / 30万6,000円</li> <li>・ いばらきの園芸産地改革支援事業補助金 / 305万8,000円</li> <li>・ 防災減災対策事業(消耗品費) 255万9,000円</li> </ul>	168億 5,386万3,000円
国民健康保険特別会計(第1号)	75万6,000円 増額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民健康保険システム改修委託料 / 75万6,000円</li> </ul>	60億 6,875万6,000円
介護保険特別会計(第1号)	200万円 増額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活管理指導短期宿泊事業委託料 / 200万円</li> </ul>	33億 8,700万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計(第1号)	180万4,000円 増額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道事業経営戦略策定業務委託料 / 680万4,000円</li> <li>・ 管渠実施設計委託料 / △500万円</li> </ul>	4億 380万4,000円
流域関連公共下水道事業特別会計(第1号)	821万9,000円 増額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体計画及び事業計画変更業務委託料 / 500万円</li> <li>・ 前川雨水対策調査業務委託料 / 321万9,000円</li> </ul>	3億 2,621万9,000円

## 意見書

意見書とは、地方自治法第99条に基づき、地方公共団体の公益に関することに關して、議会の意思を意見としてまとめた文書です。

### 発議第3号

教育厚生委員会が提案した「教育予算の拡充を求める意見書」が可決され、国の機関に提出されました。

日本は、OECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっており、教職員の多忙化が大きな社会問題となっている。また、いじめ・不登校などの課題など、学校をとりまく状況は複雑化、困難化しており、学校に求められる役割は拡大している。学習指導要領により授業時数や指導内容が増加している中、子どもたちのゆたかな学びを保障していくためには、少人数教育の推進を含む計画的な教職員定数改善が必

要不可欠である。

しかしながら、第7次教職員定数改善計画の完成後10年の間、国による改善計画のない状況が続いている。自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するためには、国段階での国庫負担に裏付けされた定数改善計画の策定が必要である。いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われているが、国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。

また、東日本大震災等の災害からの教育振興のためには、政府としての人的・物的な援助や財政的な支援が必要であり、継続的な予算措置をしていくべきである。

したがって、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させるため、次の事項を実現されるよう、強く要望する。

1. 子どもたちの教育環境改

善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。

2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

3. 震災からの教育復興のための予算措置を継続して行うこと。

(提出先) 内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

### 発議第4号

総務委員会が提案した「地方財政の充実・強化を求める意見書」が可決され、国の機関に提出されました。

地方自治体は、子育て支援、医療、介護などの社会保障、被災地の復興、環境対策、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の策定など、新たな政策課題に直面しています。一方、地方公務員をはじめ、人材が減少

する中で、新たなニーズの対応が困難となっており、公共サービスを担う人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立をめざす必要があります。

こうした状況にもかかわらず、経済財政諮問会議においては、2020年のプライマリーバランスの黒字化をはかるため、社会保障と地方財政を軸に歳出削減にむけた議論が進められています。

本来、必要な公共サービスを提供するため、財源面でサポートするのが財政の役割です。しかし、財政再建目標を達成するためだけに、不可欠なサービスが削減されれば、本末転倒であり、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかです。

このため、2017年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立をめざすことが必要です。このため、政府に以下の事項の実現を求

めます。

1. 社会保障、被災地復興、環境対策、地域交通対策、人口減対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。

2. 子ども・子育て支援新制度、地域医療構想の策定、地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。

3. 法人実効税率の見直し、自動車取得税の廃止など各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証した上で、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないよう対応をはかること。また、償却資産にかかる固定資産税やゴルフ場利用税については、市町村の財政運営に不可欠

な税であるため、現行制度を堅持すること。

4. 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」および「まち・ひと・しごと創生事業費」については、自治体の財政運営に不可欠な財源となつて確保することから、現行水準を確保すること。また、これらの財源措置について、臨時・一時的な財源から恒久的財源へと転換をはかるため、社会保障、環境対策、地域交通対策など、経常的に必要な経費に振り替えること。

5. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

(提出先) 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

### 委員会

第3回定例会で付託された請願について審査しました。

#### 教育厚生委員会

(9月13日)

請願第1号 教育予算の拡充を求める請願

#### 総務委員会

(9月12日)

請願第2号 地方財政の充実・強化を求める意見書についての請願

#### 特別委員会

特別委員会の開催状況、審議内容についてお知らせいたします。

#### 地方創生推進特別委員会

(8月19日)

・地方創生の現況と進捗状況について

#### 行方市議会活性化特別委員会

(9月14日)

・エリア放送導入による議事中継について

#### 百里基地対策特別委員会

(9月14日)

・行方市百里基地周辺整備協議会の要望について

## ～議会へ請願・陳情される方へ～

請願・陳情とは、市民が市政についての要望や意見を直接「議会」に提出する方法です。

- ※請願書(陳情書)はその要旨、理由を簡単に分かりやすく書いてください。
- ※提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ※請願書は、1人以上の紹介議員が必要で、表紙に自筆による署名及び押印が必要です。
- ※紹介議員が見つからないときは、陳情書としてください。
- ※道路等は簡単な地図、略図、図面等を付けてください。

(表紙例)

〇〇〇に関する請願  
(陳情) 書

紹介議員  
署名 印

(内容例)

〇〇〇に関する請願  
(陳情)

1. 要旨  
2. 理由

平成 年 月 日  
請願(陳情)者の住所  
氏名 印

行方市議会議長 殿

## どうなった 請願・陳情

### 請願審査の結果を報告いたします

#### ■教育予算の拡充を求める意見書 についての請願

【請願者】  
茨城県教職員組合 吉田 豊

【審査の結果】 採択

〔紹介議員〕 小野瀬 忠利  
〔付託委員会〕 教育厚生委員会

#### ■地方財政の充実・強化を求める 意見書についての請願

【請願者】  
全日本自治団体労働組合  
茨城県本部 執行委員長 黒江 正臣  
自治労行方市職員組合  
執行委員長 細田 忠勝

【審査の結果】 採択

〔紹介議員〕 河野 俊雄  
〔付託委員会〕 総務委員会

# 市の考えを問います

## 一般質問

### 一般質問とは…

議員が、市行政全般にわたり、執行部に対し、執行状況及び将来に対する方針等について質し、あるいは報告、説明を求め又は、疑問を質すことです。

(制限時間 90分)

### 9名の議員が登壇し、 市執行部に対し方針等を問いました

次頁からは質問と答弁を要約して掲載しています。なお、全文記録（会議録）は、12月下旬（予定）に、行方市ホームページに掲載しますのでご覧ください。

### 9月8日

#### 高橋 正信 (一括)

- 1 防災対策について
- 2 結婚対策支援について

#### 貝塚 俊幸 (一問一答)

- 1 各行政について
- 2 改正公務員法等について

#### 阿部 孝太郎 (一問一答)

- 1 公共施設等に関して
- 2 地域活性化に関して

### 9日

#### 宮内 正 (一括)

- 1 国際交流について
- 2 銚田・行方・潮来市ごみ処理施設建設候補地選定委員会について

#### 高木 正 (一問一答)

- 1 行方市は「農業遺産」登録をもって起爆剤とし活性化をめざすべき
- 2 2019年の茨城国体、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え主なる市政の課題について

### 9日

#### 小野瀬 忠利 (一問一答)

- 1 より良いまちづくり
- 2 将来を担う子ども達の健全育成について

### 12日

#### 河野 俊雄 (一問一答)

- 1 財政運営計画について
- 2 公共施設の整備、維持・管理について
- 3 防災・減災対策について
- 4 農地中間管理事業について
- 5 太陽光（ソーラー）発電について

#### 栗原 繁 (一括)

- 1 教育行政の課題
- 2 市所有不動産の管理・運用
- 3 市民まつりの計画と進捗

#### 小林 久 (一括)

- 1 学校跡地
- 2 平成29年度予算
- 3 盗難被害

(質問議員の順番は、登壇順です。)



高橋 正信 議員

### 防災対策について

**問** 災害弱者と言われる要援護者の方々を、どのように避難誘導させるかというコミュニケーションは明確になっているのか。

**答** 保健福祉部長 具体的にその人をどこの避難所まで誰が、どのくらいの時間で搬送するかまでは、記載していません。ただ、今後考えられるのは、その人ごとに対応の仕方も若干違ってくるかと思えますので、その要支援の方々に合った救出プランを個別にきめ細かく立てていく必要があると考えています。

**問** 被災者生活再建支援に対する法整備の進捗状況と、本市独自の支援策の必要性について伺いたい。

**答** 市長 現行の被災者生活再建支援法では、市町村の区域ごとに

一定の居住する住宅の全壊被害があった場合に適用されるため、同一の災害での被災があっても、支援が受けられない世帯が発生する場合があります。県では、法の適用とならない住宅全壊被害等に対し、被災者の生活再建を公平に支援することができるよう「茨城県被災者生活再建支援補助金交付要項」を本年度策定しました。本市では、この茨城県被災者生活再建支援補助金を活用し、現在「行方市被災者生活再建支援金支給要領」の整備を進めています。

### 結婚対策支援について

**問** 国の2015年補正予算に結婚新生活支援事業費補助金が盛り込まれていますが、この補助金の事業化に手を上げることはできないものか。

**答** 市長公室長 この制度については、夫婦の年間所得の合計が、300万円未満の新婚世帯を対象に考えていますので行方市も検討していきたいと考えています。

### 各行政について



貝塚 俊幸 議員

**問** 施策レビューの目的は何か。

**答** 市長 今年度から導入する「施策評価」は、行方市総合戦略書に掲げる主要施策の目的と成果目標に対し、施策を構成する各事業の今後のあり方を検証するために実施します。施策評価の一環として、市民の皆様を含む第三者が参加する公開の場において、施策の目的、成果目標を確認します。各事業を検証し目標を達成するための事業のあり方を議論することを目的とします。

**問** 学校跡地に文化財資料館の計画について伺う。

**答** 市長 本市は「常陸国風土記」にも記されている地域であり郷土の歴史、文化について知識と理解を深める事は、郷土に誇りを持つ意味で非常に重要な事と考えてい

ます。

文化財資料館は本市にとって必要な施設と認識しており、行方市公共施設等総合管理計画を基本として検討し、整備に当たっては文化財を保存するだけでなく市民が行方の歴史や文化を継承していく事が出来るよう、歴史資料の利活用についても考えていきます。

**答** 教育部長 設置する準備段階として、8ヶ所に分散している文化財を一ヶ所に集めて、整理、分類、補修、保存があり、燻蒸や湿度、照度管理が必要ことから旧津澄小の教室を歴史資料整理室として活用することを考えています。

### 改正公務員法等について

**問** 女性活躍推進法における本市の行動計画の内容について伺う。

**答** 総務部長 平成28年4月から平成33年3月までに、管理職地位への女性職員の登用を26年実績10.8%を15%以上に、男性職員の育児参加促進のための休暇の取得割合を100%にすることを目標として策定しました。



阿部孝太郎 議員

### 公共施設等に関して

**問** 公共施設等の維持管理・更新費用によって生じる財政負担に関して、どのような対策があるか。

**答** 市長 類似施設の整理統合を初めとする保有総量の適正化を図り、市の財政規模に見合った持続可能な規模を目指していきます。

**問** 市民サービスの向上、行政運営の効率化などの観点から、公共施設（公共建築物）の適正配置、老朽化対策などにどのような展望があるか。

**答** 市長 必要な機能に対する必要最小限の整備水準とするとともに、施設の管理運営費が最小限となる手法を導入するなど、施設の建設から様々な段階を通じて、効率的に運営を図ります。

**問** 公共施設等総合管理計画の実施再編計画は、いつまでに策定す

るのか。

**答** 市長公室長 いつまでにつくるといふ形ではなく、納得できるものをつくらなければならぬと思いますので、十分に地域の人たちの意見を聞きながら進めていきます。

**問** 行政事務の効率化、市民サービスの向上、そして防災対策の強化の面で、3庁舎のロスというものが、これからの課題になるのでは。

**答** 市長 まず、何が住民にとって重要なかということから入りたいと考えます。住民サービスありきのところから入り、どれだけのロスがあり、そのロスをどれだけ軽減できるのか、公共施設の管理計画も含め、議論を深めていきたいと考えます。

**問** 公共施設等に関して、広域で連携していく動向はあるか。

**答** 市長 今後も周辺の県や近隣市が設置した類似施設がある場合には、共同利用について検討していきます。



宮内 正 議員

### 国際交流について

**問** 取り組みの現状と今後の見通しについて伺う。

**答** 市長 市内小中学校でのALTによる国際理解や、中学校海外派遣事業、市内の農家や製造業への技能実習生の受け入れなど多様な国際交流が展開されており、これらに対応した人材の育成を進めるとともに、外国人が暮らしやすい、住み続けたいと思われるまち、そして外国からの訪問者に喜ばれるまちづくりを展開していきたいと考えています。

**問** 中学校海外派遣事業の派遣先をメルボルンに変更したが、その成果及シドニーとの相違点について伺う。

**答** 教育長 教育制度と留学を含めた海外からの学生の受け入れが世界で一番充実している、安心で安全な街であること、さらに日本語を教える公立校も多く、姉妹校提携を希望する公立学校も多いことを聞き、今回派遣先を変更しました。

**問** 教育長も同行し現地調査を行ったが、その成果について伺う。

**答** 教育長 ビクトリア州政府教育訓練省国際教育部長と会談し、姉妹校交流に関して助言を受け、その後の学校訪問もスムーズに実施することができました。

**問** 候補地選定委員会の進捗状況及び公表はいつになるのか伺う。

**答** 副市長 平成28年1月8日開催の委員会で、候補地9カ所から各市1カ所を選定し、2月4日開催の鈴木・行方・潮来市一般廃棄物広域処理促進協議会へ報告し、これをもって候補地選定委員会は解散しました。

**問** 公表は、平成28年度より鹿行広域事務組合へ事務移管され、新たな組織により協議を継続しており、決定後に報告となります。

**問** 施設規模について伺う。

**答** 経済部長 事業計画による概算事業費は、実績例・先行事例の調査を行い検討した結果、廃棄物処理施設64億8,000万円、リサイクル施設11億6,400万円、最終処分場30億円、合計106億4,400万円が用地費を除いた概算事業費です。



高木 正 議員

市民の総意の一体的形成は遅々として進まず、確立すべく将来像への構築も暗中模索状態といえる。大局的視点に立脚した議論をもって次世代型行政の確立を求めるものである。

**行方市は「農業遺産」登録をもって起爆剤とし活性化をめざすべき**

**問** 現在、我が国は社会的、経済的構造改革として、それこそ取り巻く個々の価値観の多様化の大転換期、流動化の中で地方創生を初めとして、そのあるべき方向性を求めている。我が行方市においても人口減少問題を初め、その対策は急務である。その現状認識や対外的情報の共有を目指す有効な手段ではないか。農水省の通達には伝統的な農林水産業の価値を評価し保全を促すことが目的とあり、総合戦略書の課題と合致する。そ

の遺産認定に期待される一番大きい効果として、地域住民の行方市への自信と誇りの醸成にもなると思う。任意の団体とか地域とか民間でプロジェクトを発足したら、それを応援する考えは。

**答** 市長 農漁業環境の魅力・産物を対外的に発信していくことは重要です。市としてもその様な活動に対しバックアップをしていきたい。

行政に携わっている人は、宿命、使命、責任の中であえて批判をいいただきながらも、腰を据えての行政をするべきである。

**これも質問しました**

**主なる市政策の課題について**

主要道路整備計画について

東関東自動車道水戸線の延伸

国道355号バイパス

主要地方道 水戸・神栖線

市道（麻）1ー7号粗毛石神線

美化センター整備計画は

市庁舎、福祉センターは

市財政、財源について



小野瀬忠利 議員

**より良いまちづくり**

**問** 市民参画、参加によるまちづくりについて

**答** 市長公室長 本市には92の行政区があり、どの地域でも抱える課題やニーズが多様化、複雑化しており、これからの地域づくりには住民みずからの創意工夫で地域課題を解決し、きめ細やかに、かつ迅速に対応できるようにしていくことが求められています。

これまで以上に市民との行政情報共有を図り、市民が市政に参加出来る多様な機会を設け、地域住民や地域で構成されている組織、団体が地域の課題を共有し、自主的に解決に向けて取り組む地域自治の仕組みづくりを進めていきたいと思えます。

**将来を担うことも達の健全育成について**

**問** 学校教育の充実、次期学習指導要領に対する取り組みについて

**答** 教育長 現在、次期学習指導要領に対する取り組みの方向性を踏まえながら、さらなる充実に向けて第3期行方市学校教育プランを今年度中に作成し公示する予定です。

学習意欲や学力向上、豊かな心の育成、健康、体力等の幅広い教育内容や時代の不易と流行に応じた学校教育の充実を図るため、研修等に取り組んでいます。

また、教員の資質能力の向上も重要な課題です。

**問** 人間形成の基礎をつくる就学前の子ども達への保育、教育に不均等、不平等をなくし、より円滑な幼保小接続を実現するため、幼稚園、こども園との整合性促進について

**答** 教育長 今年初めて合同研修会を実施しました。将来を担う同じこども達の育成に関わるものとして、今後もこのような研修会や意見交換の場を持つなど、整合性の促進と交流の推進を図っていきたくと考えています。



河野 俊雄 議員

### 防災・減災対策について

**問** 市役所内部の体制整備や、外部団体との連携は図られているのか伺う。

**答** 総務部長 災害に強いまちづくりを推進するためには、職員一人ひとりが責任者としての自覚を持ち、災害発生時の対応を迅速かつ冷静に行うことが必要です。職員の行動指針である「防災・国民保護ハンドブック」を平成27年に策定し、全職員に配布して初動期を中心に各班が実施すべき業務を整理しています。外部団体との連携については、日頃から消防団、消防署、警察署、茨城県防災危機管理課と情報共有を図り、災害発生時には市災害対策本部を中心として、警報等の伝

達、避難所の開設、避難勧告、食糧・飲料水の供給、生活必需品の供給を行います。

### 太陽光（ソーラー）発電の現状と問題について

**問** どの程度把握しているのか。また、今後の新規設置に対し、環境問題や住環境への影響を予防するための一定のルール（条例用の制定）の考えはあるのか伺う。

**答** 経済部長 現在把握している導入件数は、県の資料によると行方市内に748件です。台風やゲリラ豪雨等により、既に設置されている太陽光発電施設の敷地内から雨水や土砂が流出する事案が発生しています。県内でも独自に条例やガイドラインの制定に取り組む市町村がある一方で、全県の包括的なガイドラインの制定を要望している市町村も行方市を含めてあり、茨城県における太陽光発電施設の適正な設置管理のためのガイドラインが制定され、10月1日から施行されます。



栗原 繁 議員

### 教育行政の課題について

**問** 教育現場の現状と将来に向けた体制の転換について伺う。

**答** 教育長 現在、今後の行方市学校教育の方針となる第3期学校教育プランの策定を進めています。学校適正配置が完了し、地域の子どもたちの健やかな成長と新たな地域とともにある学校づくりを目指し、市民、学校、行政がともに協力し取り組んでいく計画を作成します。行方市総合戦略書、行方市教育大綱を受け、今後5年間で取り組む学校教育振興計画となり、主要事業や数値目標も設定し、他市に誇れる教育を今後進めていきます。基本目標は、生まれ育ったこの行方市において、協働の一員として子どもたちが自覚と、自信を持ち、郷土を愛し、誇りを持つような子どもを育成を第一に目指します。また、必要とされる資質、能力を身につけるために、確かな

学力、豊かな心、健やかな体づくり、この3つをバランスのとれた教育の実現を考えています。

**問** 総合戦略書「特色を生かした教育環境の充実、地域と学校の結びつきの再構築」の中で謳うコミュニティ・コア・スクールプランについて伺う。

**答** 教育長 地域コミュニティの中心にあるコミュニティ・コア・スクールという考え方を示しました。国の概念は、委員会組織を立ち上げ、地域住民、PTAが学校の教職員の人事についても提言する形がコミュニティスクールと言われるっており、あえて差別化を図るような形でコミュニティ・コア・スクールという考えを出しています。

### 市所有不動産の管理・運用について

**問** 維持管理の状況、経費、問題点。

**答** 市長 平成26年度末で公共施設が181施設。普通財産の土地保有は、平成27年度末で163ヘクタールです。公共施設等総合管理計画を策定し、計画的な管理運営を図ります。維持管理費は980万円程度を予算化しましたが、年々増加傾向にあります。一方、活用が見込まれない普通財産については、計画的な売却や貸し付けを行います。



小林 久 議員

### 学校跡地について

**問** 旧要小中学校跡地の進め方について伺う。

**答** 市長 一部耐震性がある校舎もありますが、大部分は老朽化と耐震性が不足している状況にあり、学校敷地の約1/3が借地となっています。施設は解体撤去し、土地等は所有者に返還した後、地域住民の理解醸成を図った上で、売却または貸付処分する計画です。今後、年次計画を策定し計画的に解体作業を行うとともに、耐震性のある校舎は、市民の意見を聞きながら有効活用を進めます。

**答** 総務部長 昭和63年度に延べ床面積457平米の校舎を増築しました。この施設は耐震性を有しています。跡地等利活用実施計画では建物を解体撤去後に借地を返還する計画となっていますが、耐

震性のある施設は、新たな利活用を検討する必要があります。

### 平成29年度予算について

**問** 獣害対応策予算と今後の考え方について伺う。

**答** 市長 平成29年度予算編成に当たり、獣害対応策と道路維持に係る事業は重要施策と捉えています。特に獣害対応は、イノシシなどの目撃情報も広域化しており、県政要望や国・県等の補助事業を積極的に活用し取り組みを進めます。

**問** 道路維持費及び高速道路開通に伴う維持費に対する考え方について

**答** 総務部長 高速道路開通に伴う維持経費は、横断跨道橋12橋、ボックスカルバート25基、機能補償道路10.3キロメートルが完成後、市の管理区分となる予定で、管理に係る経費は莫大な費用が見込まれます。財源確保の観点から、国・県への要望活動を行うとともに、経費産出など早期に情報収集を行い、対応していきたい。

## 行政視察の結果を報告いたします

《総務委員会》 委員長 栗原 繁 7月14～15日

### 委員会レポート

#### ●ハイウェイオアシスについて

平成10年4月にオープン。当初は400万人が訪れたが、現在は170～200万人で推移、経営改善を図りながら集客を増やす努力をしている。現在進められている行方市を通る東関道水戸線に、サービスイリアと一体となったものとして取り組むのには、国・県・市・民間と十分な検討を図り、接続道路周辺も含めた、そのエリアで構想しなければならぬと感じた。

や耐震上の問題、行政窓口の分散、様々な問題を解決するため、市民も参画した「洲本市新庁舎整備等基本計画」を策定。平成27年3月新庁舎工事発注、平成29年11月に完成予定。

#### ●庁舎建設について

淡路市役所  
平成17年4月に5町が合併し、淡路市が誕生。リース契約のプレハブ工法、鉄骨造3Fの仮設庁舎として開庁。その後、総合事務所方式から、本庁に集約化を進めた結果、事務スペースが足りなくなったことと、東南海、南海地震により引き起こされる津波への対応や避難場所がないことから、庁舎の増設を計画した。

淡路市、洲本市の庁舎建設は、それぞれ特徴的な手法により進められた件を視察でき、非常に参考になった。淡路市庁舎は、仮設庁舎として建設された本庁舎1号館が、プレハブ工法による庁舎だが、10年経過しているにもかかわらず、外観上、機能上、庁舎機能としては十分対応できていた。今後、本市の公共施設等総合管理実施計画においても、庁舎等管理計画の参考になるものと思う。

洲本市役所  
平成18年2月に合併。老朽化



委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。

## 《教育厚生委員会》 委員長 宮内 正 7月26～27日

### ●先進的な子育て支援施策について（西宮市役所）

市内に多くある大学と連携するとともに地域での子育て支援の拠点（こそだて広場）の充実を進めている。

子育てに関する情報提供については、妊娠前から就学前の子どもまで、健康や子育てに関する支援制度や相談窓口、保育所・幼稚園・認定こども園や子育て支援施設など多岐にわたる情報を提供している。

子ども・子育て支援法の施行に伴い創設された「利用者支援事業」にも取り組んでおり、今後は、特定型と母子保健型を統合した形での切れ目のない子育て支援を検討中とのことであった。西宮市では連携可能な大学があるなどの恵まれた環境もあるが、行政全体が子育て事業に積極的に取り組んでいる姿が印象的であった。また、「父子手帳」や「子育て便利マップ」などは予算も少なく容易に導入できる事業があるなど示唆に富んだ研修となった。

### ●小中一貫教育や特色ある教育活動について（池田市役所）

平成26年4月から、分離・連携型の小中一貫教育をすべての



学園内で実施されている。各学園にチーフコーディネーターを配置、学園内の連携を円滑にするため、小学校を毎週訪問して、小学校と中学校をつなぐ活動をしている。

特色ある取り組みとして、国の教育特区の認定を受け、平成16年度から、英語によるコミュニケーション能力の育成を目的として、小学校1～6年生まで「英語活動」を週に1時間、中学校でも選択履修の時間を活用して「英語活動」を週に1時間実施している。小中一貫教育は、現行の6:3制では、いじめや不登校が中学1年生で増加するなど、教育上の様々な課題との関係が指摘され、これらの取組みにより、学力向上や中一ギャップが緩和されるなど報告されていることから、小中一貫教育学校の制度化を目指した取り組みは重要と考察できる。

## 《経済建設委員会》 委員長 小林 久 8月2～4日

### ●田んぼアートについて（南九州市役所）

地元の農家グループが6年前に始めたものであり、現在では農事組合法人となり、田んぼアートの実行委員会の主体となっている。多くの方々に協力を求め、田植えや稲刈りの体験を通して農業・農村への理解、食の大切さを実感できる取り組みとなっていた。

本市においては、観光による交流人口の拡大を図るために田んぼアートも一つのツールとして考えられる。

### ●観光振興について（指宿市役所）

観光客は昭和48年前後の130万人をピークに減少傾向にある。九州新幹線などの交通網の発達により宿泊客は減少が続けたが、近年は台湾、香港への鹿児島空港からの定期便就航により観光客が増加した。

観光振興策は、現状把握、分析をもとにした観光宣伝や、霧島、屋久島等との広域連携による周遊ルート・広域観光ルートの創出など、魅力アップを図る施設整備を計画的に進めている。

観光客を呼び込むための手法、広域連携による広域観光ルートの創出等、本市としても交流人口の拡大を図るため参考となった。

### ●高速道路付近の市道の維持管理について（曾於市役所）

高速道路開通後、市の管理となった機能補償道路等の維持管理について

は、費用も相当なものになっていくと推察された。

行方市においては、横断跨道橋12橋・横断函渠25基・機能補償道路10.3kmが、完成後市の管理になる予定であり、維持管理費に対する補助事業の検討を国へ要望するなどの行動取って行く必要性を感じた。

### ●有害鳥獣対策について（都城市役所）

近年、中山間地域を中心に、サル、シカ、イノシシなどの野生鳥獣による農作物などへの被害が急増しており、深刻な問題となっている。捕獲数が増えているにもかかわらず、農作物への被害額が増加しているのは、本市と同様である。「都城市有害鳥獣駆除対策協議会」では、猟友会を母体とした25班、291名の捕獲班を編成し、捕獲を行っている。また、集落単位での研修会や座学を開催し、電気柵や金網防護柵設置など自己防衛の意識啓発活動を進めている。



# 行方市が魅力ある まちになりますように

## 《届け 私たちのメッセージ》

8月24日、午後1時から行方市議場において行方市中学生「夢」議会が開催されました。

これは、模擬議会を通して、政治の役割や市議会の仕組み、また18歳からの選挙権について学ぶことを目的に行われました。

中学生議会は、麻生・北浦・玉造中学校の3年生18名が出席しました。

中学生議員は、行方市が魅力ある市となるよう、普段の生活で感じる疑問や状況を、持ち時間10分間という時間のなかで質問や提案し、市長が答弁をしました。（※下記の紙面には、一部内容を掲載しています。）

また、開会前には選挙で使用する記載台、投票箱を使用し、今回の議会テーマについての投票が行われ、「夢限り行方市の明るい未来へ」となりました。



**1番**  
豊嶋竜司くん  
(麻生中)

**問** 廃校となった小学校にあるプールや遊具、グラウンド、体育館など有効に活用する計画はありますか。  
**答** 古くなった施設が多く、耐震性も十分でないため利用できません。市民の皆さんから意見を聞いて、利用方法を決めていきます。



**2番**  
石崎佳奈子さん  
(北浦中)

**問** 市では、イノシシに対してどのような取り組みを行っていますか。また、これまでの被害状況は。  
**答** 「猟友会」へワナによる捕獲をお願いしたり、電気柵の設置補助等を実施。水稻、サツマイモなど、農作物への被害は深刻な状況です。



**3番**  
土子 潤くん  
(玉造中)

**問** 稲作にはいろいろな機械にお金がかかるのに、米価が安いと聞いています。市独自の対策は。  
**答** 米価低迷と農家減少は、地域全体で考える大きなテーマ。農産物のブランド化や6次産業化を推進し、魅力ある農業を目指します。



**4番**  
藤崎陽大くん  
(麻生中)

**問** 東日本大震災や常総市の水害では多くの被害がありました。市の震災や水害対策への取り組みは。  
**答** 避難所となる3中学校に耐震性貯水槽を設置、テレビ（エリア放送）を整備して情報提供、ハザードマップを各戸へ配布等対策をしています。



**5番**  
鈴木裕太くん  
(北浦中)

**問** 東関東水道水戸線の進捗状況と、市への影響について。  
**答** 27年から市道と交差部分のトンネル工事や、今年度も地盤工事が予定。高速道開通により、都心等へアクセスが向上、人的交流、物流、緊急医療などとメリットは多い。



**6番**  
成嶋 翠さん  
(玉造中)

**問** 障がいのある方、高齢者、幼児等が住みやすい市とする対策は。  
**答** 健康づくりや社会参加を促す事業、介護予防、給食サービス等を実施。使用形態に合わない施設や道路を順次改良。困っている人を見たら助け合う気持ちが大切。



**7番**  
箕輪建都くん  
(麻生中)

**問** 大都市に人口が集中し、地方では人口が減少。市では人口減少をくいとめるための対策は。  
**答** 積極的に結婚対策や定住政策を進めています。安定した雇用の確保、安心して妊娠・出産・子育てができる地域を目指しています。



**8番**  
横田早紀さん  
(北浦中)

**問** 災害時の安全安心のため、要援護者の支援、非常食の備蓄、避難所の確保などの対策は。  
**答** 学校、公民館等45カ所の避難所を設定。非常食約1.5万備蓄。スーパー、J Aと災害時の食料や物資供給の協定を締結しています。



**9番**  
富田大和くん  
(玉造中)

**問** 新しい道路ができましたが、小学校も統合され利用者も少ない。この道路を活かすための計画は。  
**答** この道路は未完成であり、完了すれば利便性が向上し、住宅等が建つことも想定され、周辺の活性化が図られると考えられます。

# 行方市中学生「夢」議会が開催されました

麻生・北浦・玉造中学校の3年生が市長に質問や提案をしました



(8月24日 市議会議場において)

## 12番

森作聡美さん  
(玉造中)



**問) 通学路に草が繁茂し通りにくかったり、集積所のゴミが散乱している。道路や集積所の環境整備は。**  
**答) 区長さんの申請やパトロールにより除草作業を実施。集積所の管理や清掃は地区に依頼している。皆さんも環境美化に協力願いたい。**

## 11番

小室海翔くん  
(北浦中)



**問) 特色ある教育の取り組みや、今後予定されている活動等は。**  
**答) ALTによる英語教育や充実、ICT教育を強化。郷土検定や職場体験も特色のひとつです。今後はオーストラリアの中学校と姉妹校や、交換留学生の計画を進めています。**

## 10番

鈴木花菜さん  
(麻生中)



**問) かつて、霞ヶ浦は泳ぐことができたと聞きます。昔の霞ヶ浦を取り戻すための対策やその結果は。**  
**答) 水質は、水質浄化活動により、少し改善しましたが横ばいの状態。ゴミを捨てない、捨てさせない環境づくりに取り組んでいきたい。**

## 15番

石井萌絵さん  
(玉造中)



**問) 学校の楽器、体育のマットも古く、使いづらく安全性に欠ける。市の教育予算はどのような状況か。**  
**答) 元の学校の物も多いと思うが、使えるものは大切に使うことが大切。みなさんの学校生活に支障がないように教育予算編成しています。**

## 14番

横瀬厚人くん  
(北浦中)



**問) 魅力ある農産物が、市にはたくさんあるが、アピールや地域ブランド等への取り組みやその検討は。**  
**答) 7品目、県の銘柄指定産地指定を受けており、特にわさび菜の地理的表示登録を進めています。サツマイモはブランド力を高めたい。**

## 13番

高橋美帆さん  
(麻生中)



**問) 私の周辺に、バス・鉄道の交通機関がありません。車を運転できない方、高齢者の方への対策は。**  
**答) 乗り合いタクシー(デマンド型コミュニティバス)の運行、潮来・鹿嶋間の路線バス実証試験、空き時間のスクールバスの有効利用を検討しています。**

## 18番 議長

高須琴羽さん  
(麻生中)



### (開会のあいさつ)

私たちは、市内の中学生として、この行方市がもっと魅力あふれる市となるよう、普段の生活で感じる疑問や現在の状況をしっかりと理解し、行方市の将来をより良くできるように質問、提案してまいります。

## 17番

小橋祐哉くん  
(玉造中)



**問) 東日本大震災を経験して食料等を備えた防災倉庫が必要だと思いました。市の防災対策は。**  
**答) 防災倉庫は3カ所設置し、スーパーやホームセンターと物資調達の災害協定を結んでいます。市民の安全安心の確保に努めていきます。**

## 16番

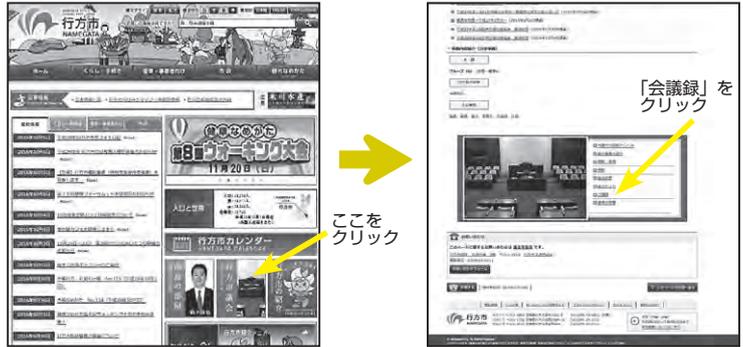
柏葉瑠奈さん  
(北浦中)



**問) 市にはおよそ1,000人の外国人の方が生活していると聞きます。外国人の方が暮らしやすいまちづくりへの取り組みや工夫は。**  
**答) 4か国語のパフレットを窓口設置や国際交流協会が日本語教室など支援に取り組んでいます。**

## 本会議の内容を知りたい

行方市ホームページの「会議録検索システム」をご利用いただくことで、会議録全文をご覧いただけます。  
現在は、平成28年 第2回 臨時会(7月)までの会議録を掲載しています。



## 傍聴してみませんか

## 議場は玉造庁舎3階です

次の定例会は  
「平成28年 第4回 定例会」  
12月2日(金) 開会の予定です

- 2日(金) 開会、議案の上程、審議
- 5日(月) 一般質問
- 6日(火) 一般質問
- 7日(水) 一般質問(予備日)

- 傍聴席は44席(先着順)
- 事前の申し込みは不要です。
- 日程は、決まり次第市ホームページ等でご案内いたします。
- ご不明な点は、議会事務局(☎0299-55-0111)へお問い合わせください。



傍聴席入口は右側です



行方市議会議場



ここから入ります



議場の入り口



階段で3階へ

エレベーターがありませんので、車いす等の方は事務局まで連絡願います

## 議会中継がテレビで観られます

ご自宅のテレビで本会議(定例会・臨時会)を視聴できるように準備しています。  
中継が出来るようになりましたら、お知らせいたします。



これは…

行方市では、市民のより一層の安心・安全な環境づくりを目指すために、防災情報の伝達手段である防災無線、Lアラートを補完することを目的に「防災対応型エリア放送構築事業」を実施しています。これによって家庭内のテレビで受信が可能になることから、中継の準備を進めています。

## ● 議会日誌 ●

### 8月

- 2～4日 経済建設委員会行政視察
- 3日 茨城新聞合同政経懇話会
- 6日 日独スポーツ少年団お別れパーティー  
サンセットフェスタ
- 10日 行方市議会活性化特別委員会
- 18日 ホームタウン市議会議員研修会
- 19日 地方創生推進特別委員会
- 22日 経済建設委員会
- 23日 教育厚生委員会
- 24日 行方市中学生「夢」議会
- 25日 総務委員会
- 30日 議会運営委員会  
全員協議会

### 9月

- 6日 第3回定例会（開会）
- 9日 広報委員会
- 10日 常総市復興祈念式典
- 12日 総務委員会
- 13日 教育厚生委員会
- 14日 行方市議会活性化特別委員会
- 14日 百里基地対策特別委員会
- 24日 行方市消防操法大会
- 26日 議会運営委員会  
第3回定例会（閉会）

### 10月

- 2日 戦没者追悼式
- 4日 水戸神栖・玉里水戸線道路建設促進期  
成同盟会県要望
- 6～7日 広報委員会行政視察
- 10日 市民運動会
- 12日 福岡県小都市議会行政視察来訪
- 14日 県東市議会議長会
- 16日 鹿行地区消防操法大会
- 18日 鹿行政経懇話会
- 19日 福井県敦賀市議会行政視察来訪
- 22日 鹿行地区身体障害者スポーツ大会
- 25～26日 議会運営委員会行政視察研修
- 28日 茨城県市議会議長会理事会
- 29～30日 第3回行方ふれあいまつり

## 行方市に視察に来訪されました



関東若手市議の会  
茨城ブロック

（14名、7月21日）

学校跡地の活用と6次産業化

（学校跡地の活用と課題、6次産業化とPR、ファーマーズビレッジの今後の展開）



福岡県小都市議会

都市経済常任委員会  
（7名、10月12日）

観光物産館「こいこい」について  
（施設の運営、6次産業化との連携について）



福井県敦賀市議会

産経建設常任委員会  
（9名、10月19日）

廃校跡地利活用についての今後の計画、企業誘致の経緯及びオープンまでの経過について

今後ますますの発展をご祈念いたします。

## これからの議会のあり方について 研修会を開催しました

8月10日、行方市議会活性化特別委員会研修会を開催しました。

講師には、(株)地方議会総合研究所 所長 廣瀬和彦先生を招き、①議員定数、②議員報酬について

の基本的な見方・考え方 ③議会報告会実施の上での基本的な考え方 ④エリア放送導入により議会中継を行う上での注意点・進め方についてご講演をいただきました。

廣瀬先生は、現在明治大学政治経済学部講師としても活躍されており、様々な研究データを基に、見方・考え方を示していただきました。



ちょっと一言!!

# 市民の声



広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せた思いをインタビューしました。



した。実際移動を考えた時、どの道を通って行こうか迷う時が多々あります。

● 私は、生まれも育ちも40年間この行方市に住んでいる者でございます。日頃より、市長さんを始め議員さん、市の行政に係わる方、行方市のためにご尽力くださいます。ありがとうございます。今、行方市にとどまらず日本中で少子化、高齢化に伴い人口が減少しております。財政も大変厳しく市民のための施設も出来ないのが現状だと思います。

(50代・女性)

愛が深まり、地域密着へつながるのではないかと思います。

(30代・女性)

● 私は、この行方市に生まれて40数年になり、その間別の地で生活もあつたのですが、この行方市が忘れられず戻ってきました。行方市には家族がいる、幼なじみがいる。隣にどの誰だか、挨拶もしない隣人がいるような地での生活に我慢できなくなりまして。大物演歌歌手の歌ほどではありませんが、不慣れな所も確かにあります。車がなければ生活も成り立たないところもあります。この程度の田舎のレベルが住みやすいのではないのでしょうか。行方市万歳。

(40代・男性)

● 私はもうすぐ還暦になります。いい時代を行方市で過ごしました。高度成長の最高の時代でした。人々も活気に満ちあふれていたと思います。今、社会は大変難しい時代になっています。行方市民が豊かに平和に暮らすため議会の皆さんの努力に期待します。多くの人々と交流していく行方市を希望します。市民のつながりをもっと強くして、小さなまちでも活力のあるまち、市民が誇りをもてるまちにしてください。

(40代・男性)

● 行方市では、若者の地元離れが多く見受けられます。小学校を見ても二十数年前の半分位の児童の数になっていっていると思います。若者が地元を離れてしまうと、子どもたちも少なくなり、市の人口も減少していくばかりです。そうならないためにも、若者にとって魅力のある行方市になってほしいと思います。

(30代・男性)

● 行方市の道路についてですが、以前、行方市は他の自治体と比べ、道路延長が長いと聞きま

● 行方市には市民が楽しめるお祭りやイベントがたくさんあり、交流の場としてとても有効だと思います。エリア放送等で告知する回数を増やし、若い世代などもっと多くの市民が足を運ぶようになると、全体として行方

## 編集後記

収穫の秋を迎え、日増しに秋も深まり肌寒い季節となってまいりました。常総市の水害から一年が過ぎ、今年も異常気象により日本各地に被害がでております。行方市でも、相次ぐ台風の上陸、長雨の影響で収穫にも被害があつたようでもあります。改めて自然の脅威を感じるとともに、災害対策の重要性を再認識しております。また被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

さて、九月定例会では、主に平成27年度決算について審査し議論をつくしました。また、今議会より議場にテレビモニターが設置され、今後はエリア放送により議会中継が家庭のテレビでも見られるようになり、さらに活発な議論が展開されることと思います。

今後も市民の皆様には、開かれた議会、わかりやすい議会、見やすい紙面づくりを目指してまいりますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

(土子浩正)

議会だよりの  
ご意見・ご感想を  
お待ちしております。



### 広報委員会

- 委員長 正利 信守 一郎
- 委員 長 浩 忠 正 仙 一 郎
- 委員 長 土 小 野 瀬 橋 内 崎 部
- 副委員長 高 宮 藤 阿
- 委員 〃 〃 〃
- 委員 〃 〃 〃